

「この本、よかった！」(137)
 『窓ぎわのトットちゃん』
 作：黒柳 徹子
 絵：いわさき ちひろ
 (講談社)

みなさんにもおすすめしたい
 「くまどく本」
 今月は、熊野中学校からです♪

中村あおい（3年）
 私は母と一緒に読もうと言われてこの本を手に入りました。元気で真っ直ぐなトットちゃんのようにになりたいなと思いました。愛を感じ笑顔になれる本です。読んでみてください。

中村さおり（母）
 この本を読んで、現代においても1番大切な事を教えて貰いました。トットちゃんのお母さんや校長先生のように、私も常に柔軟で子どもの心に寄り添える人間でありたいです。



(教育総務課
 社会教育グループ)

スマイルハッピー

熊野第三小学校

第三小学校の教育目標は「つよく かしこく やさしい子」です。教育目標実現に向け、目指す児童の姿を“スマイルハッピー目標”として、児童と教職員で共有しています。

スマイルハッピー目標は、学習場面と生活場面の具体的な行動になっており、各クラスで学期ごとにどれに重点を当てて取り組むかを決め、職員室前に掲示しています。各教室にも掲示し、帰りの会で目標を意識した1日の振り返りをしています。

また、スマイルハッピー目標が達成されている姿を児童同士や教職員が見つけると、葉っぱの形をした紙に記入し、校内の“ハッピーポスト”に投函します。それを運営委員会の児童がお昼の放送で紹介したり、“スマイルハッピーツリー”に掲示したりしています。

スマイルハッピーツリーには、たくさんの葉っぱがつけました。第三小学校は、スマイルハッピーであふれています。



▲たくさんの葉っぱがついたスマイルハッピーツリー
 (教育総務課)

自分たちで創りあげた
 「組曲 筆の都くまの」

熊野中学校

今年は、生徒が中心となって、22代目となる「組曲 筆の都くまの」を創りあげることができました。

伝統を確実に引き継いでいかななくてはならないプレッシャーの中、パートリーダーを中心に、毎時間の課題を設定し、よりよい演技を目指して取り組んできました。また、RCCテレビ『広島！中高生ニュース』に応募し、生徒自身が組曲について広報を行うなど、積極的な姿が見られました。

迎えた本番では、心の底まで響く太鼓の音と柔らかい音色が魅力の篠笛、和楽器と調和した吹奏楽、人々の願いが込められた踊り、熊野が誇る文化である書道が一体となって、見事に「組曲筆の都くまの」が表現されました。

書かれた文字からは、中学校で過ごした時に心に刻み、夢に向かって仲間との絆を大切にしながら未来に羽ばたいていくという生徒の決意が伝わり、観客を魅了しました。



▲「組曲 筆の都くまの」を披露した生徒たち
 (教育総務課)

広島広域都市圏 ふるさとのプロと交流「こども野球教室」

廿日市市、三次市、島根県川本町の女子硬式野球チームによる「こども野球教室」が開催されます。ふるさとのプロと交流してみませんか。

時 3月9日(日) 13:30～15:30

所 宮園野球場（廿日市市宮園4丁目1番）

対 圏内在住または圏内の小学校に通う1～4年生の児童

※要保護者同伴（スタンド観戦）

定 60人程度 ※応募多数の場合は抽選

持 運動できる服装、グローブ

申 2月7日(金)まで

※申込みは「としぽー広島広域都市圏ポイントアプリ」からのみとなります。

広島広域都市圏マスコットキャラクター
 ひろしま都市犬・はっしー



関 【「としポアプリ」について】

広島広域都市圏ポイント運営事務局

☎0570-783-671

(平日10:00～17:00)

【イベントについて】

広島広域都市圏協議会事務局

☎504-2017

(平日8:30～17:15)

▲内容やとしポ
 アプリに関する
 詳細はこちら

(政策企画課)



クラスマッチ

熊野高等学校

この地に (344)

11月14日(木)・15日(金)の2日間で、クラスマッチを開催しました。昨年度までは学年別での開催でしたが、今年度は全学年合同クラス対抗ということで、他学年との対戦もあり、白熱した試合が展開されました。全体指揮はこの日まで時間をかけて準備してきた生徒会執行部が担当、各チームキャプテンも審判として協力し、生徒全員で運営を行いました。

1日目は男子がグラウンドでドッジボール、女子は体育館でバレーボール、2日目は男女で場所と種目を入れ替えて、同様に実施しました。最後は、体育館に全校生徒が集まり、男子バレーボールの決勝戦、そして、教員チームとのエキシビジョンマッチを観戦しました。

天候が心配されましたが、なんとか全ての日程を終了することができました。実施後のアンケートでは「みんなと協力できて楽しかった」「クラスが仲良くなれた」といった感想が数多く寄せられました。次回が楽しみです。



▲男子生徒による白熱したバレーボール
 関熊野高等学校 ☎854-4155

人権とわたし

「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」
 受賞作品を紹介！(Part.4)

性別に関する固定概念（ジェンダーバイアス）の解消に向けた県主催の取り組みとして、エソール広島と連携して昨年度開催された「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」の受賞作品を紹介します。



作者のコメント

「お子さんがまだ小さいから早く帰りな」と、自身も幼い子を持つ男性上司に言われてもやもやしました。

ジェンダー平等というと女性の活躍がよく取り上げられていますが、その裏で男性が我慢しないよう、本当にジェンダー平等な世の中にしたいですね。
 (40代・女性)



◀エソール広島ホームページ

出典：もやもや解消読本

(広島県環境県民局わたらしい生き方応援課発行)
 (生活環境課)